

首里城正殿の再建への提言

～200年先、300年先にも残る首里城とするために～

- 防災
- 木材調達
- 職人手配

公益社団法人 日本建築士会連合会 / 公益社団法人 沖縄県建築士会
一般社団法人 工学院大学校友会 / 学校法人 工学院大学 / 工学院大学建築学部

わが国の森林資源

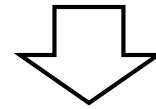
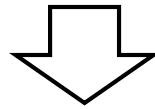
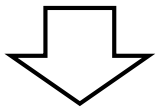
- ✓ わが国の森林面積は国土の2/3に及んでおり、戦後造林された森林が伐採期を迎え、その利用が課題となっている。

地球温暖化対策

- ✓ CO₂が固定化された木材を建築物として長期に亘り利用するとともに、伐採跡に木を植え造林することで大気中のCO₂を新たに固定することが地球温暖化対策となる。

伝統的建物に係る生業の生態系

- ✓ わが国の伝統的な木造建築を後世に伝えるためには、木造に関わる多様な職人からなる生業の生態系を再構築し、持続的に育てることが重要となる。



今回の提言

- ✓ 首里城正殿は、国産材を中心に使用し、200年先、300年先にも残る方策を講じて再建
- ✓ 以前はRC造で再建されていた北殿、南殿等は、国産のCLTを用いた再建も選択肢の一つ

防災

木材調達

職人手配

防災について

200年先、300年先にも残る首里城とするためには、文化財的な建物であっても、必要な防火対策を講じることが重要

目立たないことよりも、実効性のある防火設備を！

- ✓ 早期発見のための煙感知器・炎感知器の重視
- ✓ 初期消火のためのスプリンクラーの設置、屋内消火栓の設置

火災が拡大しない建物の構造に！

- ✓ 建物内に適切な火災拡大防止対策を講じる
- ✓ 相互に接続・接近した建物間には防火シャッター等を設置

消防隊が円滑に活動できる対策を！

- ✓ 消防署への自動通報装置の設置
- ✓ 連結送水管設備を首里城公園内に設置
- ✓ 首里城の敷地内に防火水槽を増設
- ✓ 城壁内に消防隊が即時に到着できる進入路の確保

木材調達について

200年先、300年先にも残る首里城とするためには、薬剤だけに頼ることなく、耐久性の高い木材や木材の部位を使用することが重要

木材の調達は可能な限り前倒して！

- ✓ 大径木は乾燥に時間を要するため、できるだけ早期に調達することが重要
- ✓ 木材は強度の観点から、天然乾燥が望ましい

耐久性が相対的に高い木材は？

- ✓ 前回の再建に使用された台湾ヒノキは、耐久性が高い
- ✓ 台湾ヒノキは既に伐採が禁止されている

耐久性が相対的に高い木材の部位は？

- ✓ 針葉樹(ヒノキ、スギ等)の心材(赤身)は、辺材(白太)に比べ腐朽・蟻害に強い

針葉樹の心材を組み合わせた柱梁も選択肢の一つに！

造作材や正殿以外の建物の再建にも針葉樹の心材の活用を！

- ✓ わが国の針葉樹は既に大径木が育ってきており、辺材の部分落了し、心材を使えばよい
- ✓ 一木(一本モノ)にこだわる必要はなく、わが国の伝統的な技法であるツギ・ハギにより心材を組み合わせた柱梁等の長大材もありえる

職人手配について

200年先、300年先にも残る首里城とするためには、復元した建物を将来にわたって適切にメンテナンスしていく職人を継続して養成することが重要

本土の職人と地元の職人が協働する体制を！

- ✓ 資材の手配、地域の蟻害対策、地元の特殊構法等の関係で、地元の職人の参画は不可欠
- ✓ 将来のメンテナンスのためには地元の職人が関わる必要

首里城復元を若い職人を育てる場に！

- ✓ 近年は若い職人に技術を伝える場が減少
- ✓ 正殿復元その他、多くの建物群を再建する必要があり、そこを若い職人を養成する場として活用
- ✓ 職人(宮大工)に相応しい賃金体系も重要

前回の復元のノウハウは最大限活用！

- ✓ 瓦の焼成・職人のチーム構成等、前回の復元時に苦労して得たノウハウが存在